

【市議会】平成30年第2回江田島市議会定例会 市長開会あいさつ

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、平成30年第2回江田島市議会を開会するに当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には早朝から、定例会の傍聴にお越しいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、今年もオリーブの白い花が咲き、そして実となっていく、その準備の時期となりました。江田島市におきましては、今では毎年繰り返されている自然の訪れでございます。

しかしながら、ひとつとして同じものはございません。木々は毎年成長し、そして新たな花になり、新たな実になってまいります。

市の施策におきましても、このオリーブのように、同じことの繰り返しではなく、新たな事業を加えながら、成長しております。

そして、私が市長に就任させていただきまして、本日で555日目となり、すべてが2度目を迎えております。昨年度より今年度と、更に、よりよい江田島市のために、日々努力を続けているところでございます。

そういった中、年度末の平成30年3月30日に、国立社会保障・人口問題研究所から2045年、今から27年後の人口推計が発表されました。本市におきましては、平成27年の国勢調査人口に比べまして、残念ながら、55.7%の減少率で、1万774人と推計されております。

しかしながら、本市と同じような過疎地域の他の市町村では、前回の推計値よりも改善しているところもございます。これは、様々な努力によりまして推計値は改善できることを証明しているものでございます。

私たちも希望をもって、更なる努力していかなければなりません。

今通常国会におきまして、合併特例債の発行期限を、5年間、再延長いたします「東日本大震災合併市町村地方債特例法」が可決・成立をいたしました。

人口減少課題に果敢にチャレンジしなければならない本市にとりまして、大変ありがたいものでございます。

このような有利な財源を活用しながら、今年度、平成30年度におきましては、37の新たな取組を加え、人口減少の改善のために、私の3つの重点テーマでございます「仕事の創出」「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」に挑戦をまいります。

また、そのような事業を展開していくためには、市役所が市民の皆様の役に立つ所でなければなりません。そのため各部局におきましては、それぞれの行政課題に対しまして、真摯に向き合っております。

その中には、「無戸籍問題」がございます。他の男性との子どもであるのにもかかわらず離婚後300日以内の出産であることなどから、民法の規定との齟齬によりまして出生届を出すことができない「無戸籍」の状態となる事案がございます。これは全国的にも大変難しい問題の一つでありまして、本市におきましても無戸籍の方がいらっしゃいます。

無戸籍の方は、戸籍を持っていないことから、パスポートの取得ができなかったり、婚姻にも不具合がございます。どの国におきましても国民と認められなくなってしまうものでございます。

そうした中、本市の無戸籍者の方のうち、1人につきましては、平成30年3月30日に、無事、戸籍を作成することができました。本当によかったと心から喜んでいるところでございます。

しかしながら、1つの戸籍を作成するためには、本人、家族、関係者など様々な方の協力が必要で、時間も費用もかかってまいります。

今回は、本市の職員が、本当に親身になり、信念を持って、市民の方に寄り添い、信頼関係を築き、解決に結びついたものでございます。

改めまして、私の大好きな坂村臣民先生の「念ずれば花ひらく」という詩のとおり、「何事も一生懸命に祈るように努力をすれば、自ら道は開ける、夢や目標がかなう」ということを確信をしたところでございます。

戦後、昭和22年以来、本市の人口は減少し続けております。今後も、人口減少への危機感を持って、大胆に施策を展開しながらも、市民の皆様に寄り添いながら仕事をしてまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力を是非お願いいたします。

さて、今議会では、江田島市職員定数条例の一部を改正する条例案や江田島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案など、当面する市政の重要案件につきまして、御審議をお願いすることといたしております。

これら各案件につきましては、後ほど御説明を申し上げます。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

平成30年6月12日

江田島市長 あき おか しゅう さく
明 岳 周 作